

ハンフリー自動視野計 HFAⅢ 840

を導入しました！

この度、ハンフリー自動視野計 HFAⅢ 840（カールツァイスメディテック社製）を導入しました。

自動視野計は、左右それぞれの眼のある一定の物が見える範囲（＝視野）において、どれくらいの暗い光を認識できるのか（＝感度）を計測する器械です。主に緑内障であるかどうかの確認や、緑内障と診断された場合、視野のどこにどれくらいの感度低下があるのか、その範囲が広がっていないかどうかを確認することができます。

今回導入のHFAⅢは、視標の位置を固定して、輝度を変化させて表示し、その点における感度を測定することにより、自覚症状にない初期の段階での小さい異常を調べることができます。緑内障や、網膜疾患・脳血管障害の視野異常を検出しやすく、視野異常の早期発見、早期治療に対応しています。



緑内障について（日本人失明原因の1位の病気です。）

緑内障は、視神経が障害され、視野欠損（見えない部分）がでる病気で、徐々にその範囲が広がっていき、失明につながる非常に怖い病気です。

片方の眼の視野に欠損が生じても、もう片方の眼がその欠損部分を補完して見せてしまうので、初期の欠損が小さい段階では異常に気づきにくいです。

視野欠損は不可逆性で、いったん視野欠損が起きてしまうと元の状態に戻すことはできません。

緑内障は早期発見と早期治療がとても重要な病気となります。また、経過観察をしっかりと行うことがとても重要になります。